

平成 28 年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

宇部市立上宇部中学校 第 1 学年 (118 名)

平成 28 年 5 月 26 日～5 月 28 日 実施

1 活動のねらい

- 長門市の豊かな自然の中で、体験学習や地域の人々とのふれあいを通して、働く事の意義や将来の生き方について考える機会とする。
- 学校外で、生徒の力だけで活動することを通して、自主的な判断力・行動力を身につけさせ公共施設や公共交通機関の利用の機会を捉え、公衆道徳やマナーの在り方について学ぶ。
- 長門市の歴史や偉人等について、事前に調べたり、現地で直接見聞したりすることを通して、地域の歴史に対する理解を深め、一人ひとりの興味・関心に応じて学習のまとめができるようになる。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：長門市俵山地区】

	期 間	活動の内容	時数
事前指導	5 月 11 日～ 5 月 25 日	○自己紹介カード記入 ○長門市について、調べ学習 ○民泊班編制と行動目標の決定 ○実行委員の指導 ○マナーや集団行動についての指導 ○国語科「金子みすず」について	8
実施	5 月 26 日～ 5 月 28 日	○農作業体験（ショウガの苗植え、花摘み体験、田植え及び畑の畝作りなど） ○民泊体験 ○公衆浴場の体験 ○ゲストティーチャーによる講話（住職） ○山登り	18
事後指導	5 月 31 日～ 6 月 6 日	○民泊新聞作成（体験記） ○反省カードの記入、アンケート記入 ○お礼状作成、感想文の作成	5

3 活動の展開

5 月 26 日（木）		5 月 27 日（金）		5 月 28 日（土）	
8:00	学校集合	6:00	起床	6:00	起床
9:00	学校出発	7:00	朝食	7:00	朝食
10:30	油谷到着	8:00	体験プログラム②開始	8:00	体験プログラム④開始
11:00	入村式				
13:00	体験プログラム①開始 【1, 3組】 シャクナゲ花がら摘み 【2, 4組】 ショウガ苗植え	13:00	体験プログラム③開始	13:00	昼食
17:00	民泊先との対面式	17:00	民泊先移動開始	14:00	退村式・解散式
17:30	民泊先に移動	17:30	民泊での生活開始	15:00	俵山出発
18:00	民泊先での生活開始			17:00	学校着
22:00	就寝	22:00	就寝		

4 実施上の留意点

(1) 指導上の留意点や工夫した内容等

- 2日目は生徒が各地区に分かれて活動を行うため、学校の体制として、教員を2名増やし、各地区に教員が割当てられるようにした。また、特別支援学級の生徒は、教員経験者の家庭に民泊をさせてもらい、個別の対応が可能な態勢をとった。
- 配慮を要する生徒の対応ができるように、民泊先からの連絡を一元化するようにした。また、医療機関の確保と夜間の巡回の方法の確認を事前に行った。
- 入学後、間もない時期の活動であるので、ふるさと学習のグループ分けは、違う小学校出身の生徒同士を組ませた。
- 体験プログラムを4つ取り入れ、農業体験など、日頃あまりできない活動を計画した。

(2) 評価における工夫や留意点

- 事前学習では、長門市について調べ学習を行った。また、国語の時間には長門市にゆかりのある「金子みすず」の詩を学習したり人物像について調べたりした。
- 体験学習のしおりに一日の振り返りを書かせた。また、実施後の体験の感想や体験内容を個人で新聞にまとめたりした。
- 国語の時間に礼状の書き方を学習し、学活で礼状を書かせた。



【畑の畝づくり】



【ショウガ苗植え】



【民泊先での交流】

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

- 1日目の農業体験では「シャクナゲの花摘み」と「ショウガの苗植え」を各2時間程度行った。地元の方の説明を聴きながら、真剣に取り組むことができた。民泊先では、楽しい時間を過ごさせてもらったようだが、「はたる」や「野生の鹿」を見に連れて行ってもらった生徒もおり、日常とは違う生活に感動したり有意義な時間を過ごしたりすることができた様子である。
初めての民泊で緊張感もあり、はじめはうまくとけ込めなかった生徒もいた。民泊先の方にも気を遣っていただき新しい環境で生活することができた。
- 2日目の研修プログラムは、宿泊した地区ごとに工夫を凝らした取り組みがあり、ホストファミリーの方と交流を深めることができた。また、「友達との絆を深められた」と感想に書いている生徒も数名おり、「仲間づくり」がある程度できたと思われる。午前中ずっと田植えを続けた生徒の中には、途中疲れてあきらめかけていた時に、地元の方に声かけをしていただいて最後までがんばれたことをうれしく思っている生徒もいた。
- 3日目の午前中は、山登りで最後まであきらめずに取り組むことができ、充実感を味わえた。
- ふるさと学習では、初めて体験することがほとんどで、日頃の生活との違いに戸惑いを感じているところもあった。事前に、何事も積極的に取り組むことの大切さを指導していたが、時間が経つと慣れてきて取組が雑になることもあった。
人との関わり方を3日間で感じることは難しかった面もあるかもしれないが、自分の思いを表現することの大切さを学校生活で出してほしい。

(2) 今後の改善点

日々の生活では、新たに人間関係を築いていくことはあまりないが、人間関係のトラブルに発展して悩んでいる生徒もいるので、アサーショントレーニングやSGE（構成的グループ・エンカウンター）などを取り入れた活動をしていく必要がある。